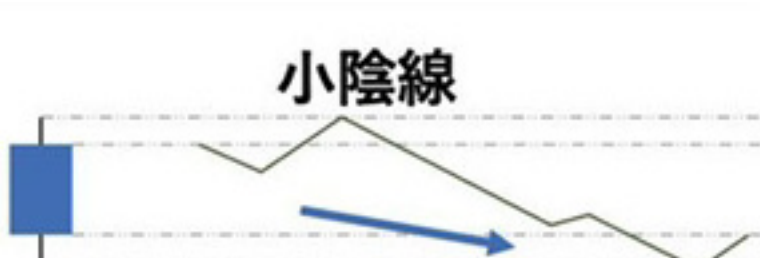
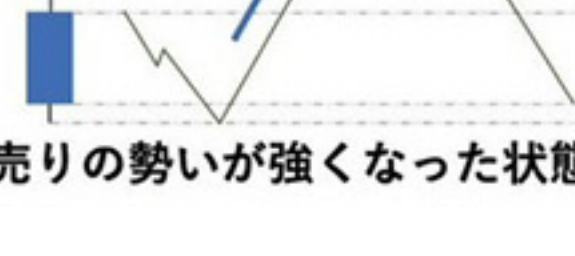
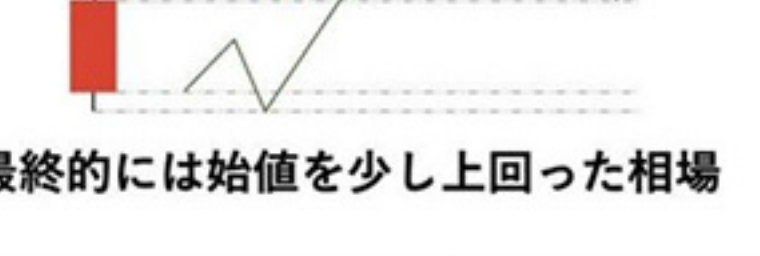
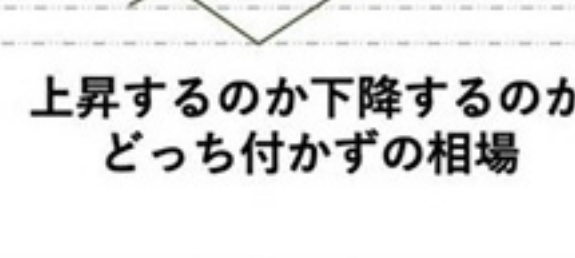
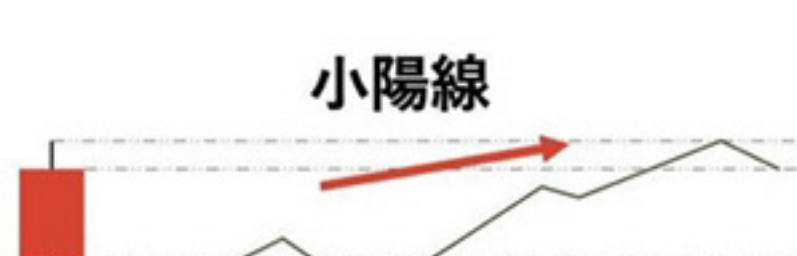
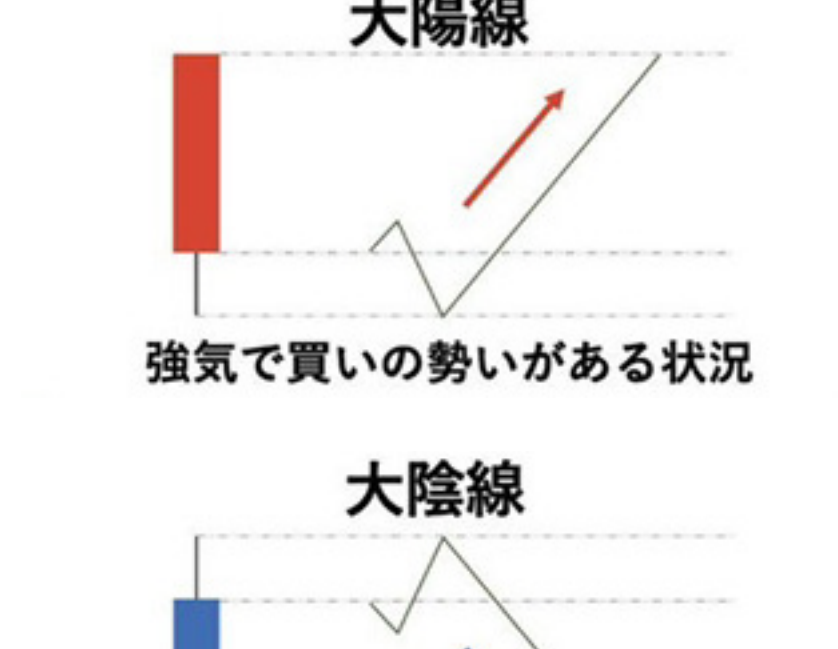


知っておくべき！基本のローソク足9パターン

一定期間における株価の値動きを表したものの過去のデータや相場の動きを一目で読み取れて、トレンドを把握できる！



必須のチャートパターン5選

ヘッド&ショルダー
相場の天井を示すチャートパターン



高い確率で「トレンド転換」を判断することができる

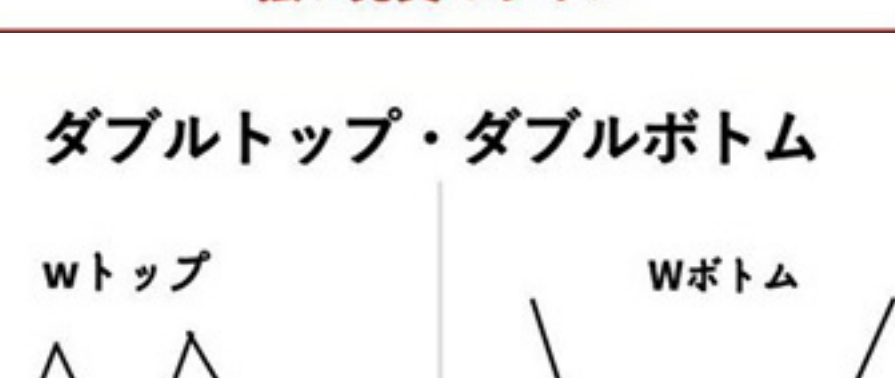
チャンネルライン
このライン内で動いていくという仮説を立てる



新規エントリーポイントや利益確定の決済ポイントを判断するために使う

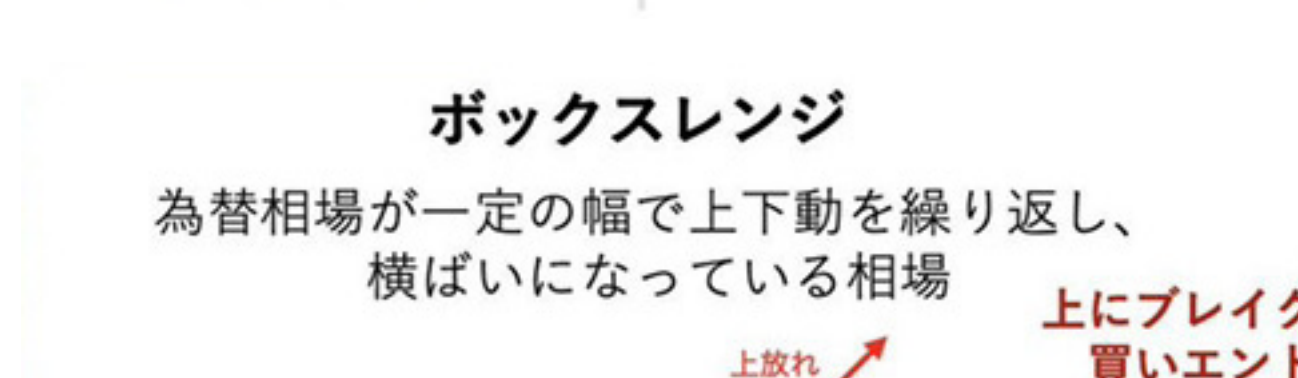
三角持ち合い

株価が上下しながらも横ばいの動きを続け上下の動きがだんだん小さくなっていく



頂点に近づき、ブレイクアウトした点が強い売買のサイン

ダブルトップ・ダブルボトム



最初の山を形成した後の安値のラインを割り込んだときに売りポイント

株価がネックラインを突破したところが株の買いサイン

ボックスレンジ

為替相場が一定の幅で上下動を繰り返し、横ばいになっている相場

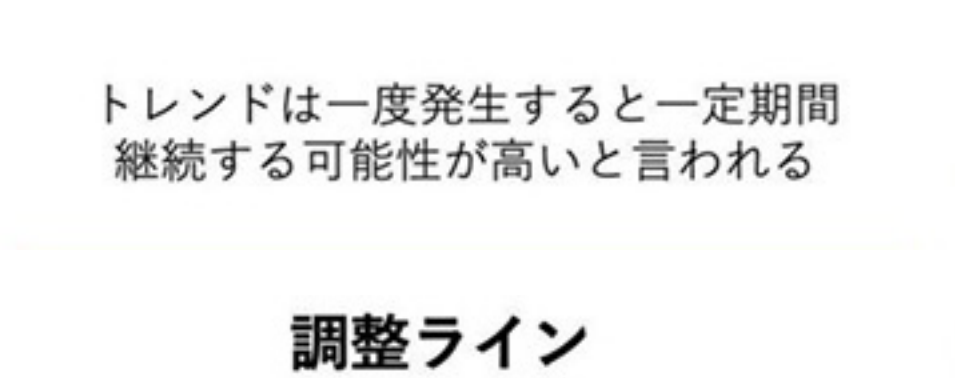


上にブレイクしたら買いエントリー

下にブレイクしたら売りエントリー

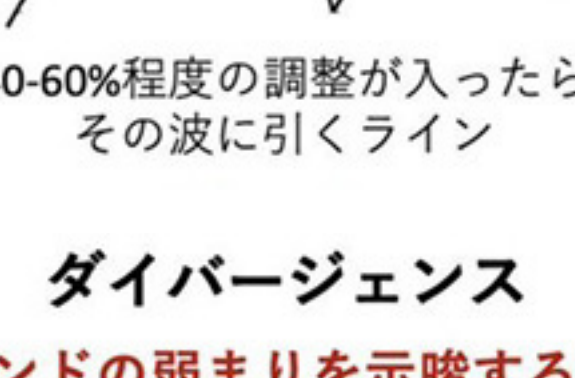
よく使う環境認識5選

トレンドライン
トレンドの勢いを計る



トレンドは一度発生すると一定期間継続する可能性が高いと言われる

調整ライン
調整の方向を計る

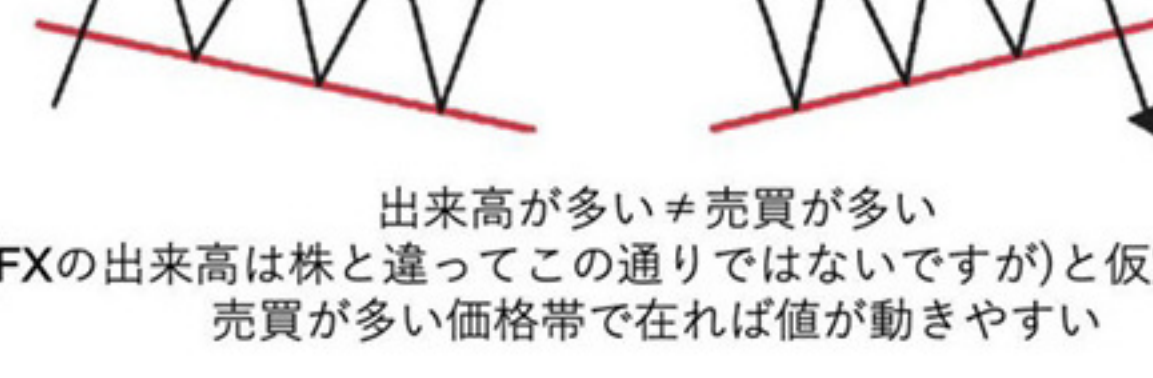


40-60%程度の調整が入ったらその波に引くライン

ダイバージェンス
トレンドの弱まりを示唆するもの



出来高
投資家の取引量によって変動する



出来高が多い≠売買が多い (FXの出来高は株と違ってこの通りではないですが)と仮定して、売買が多い価格帯でなければ値動きやすい

フィボナッチリトレースメント
調整がどこまで伸びるかを計る



トレードに役立つパイプルの理論4選

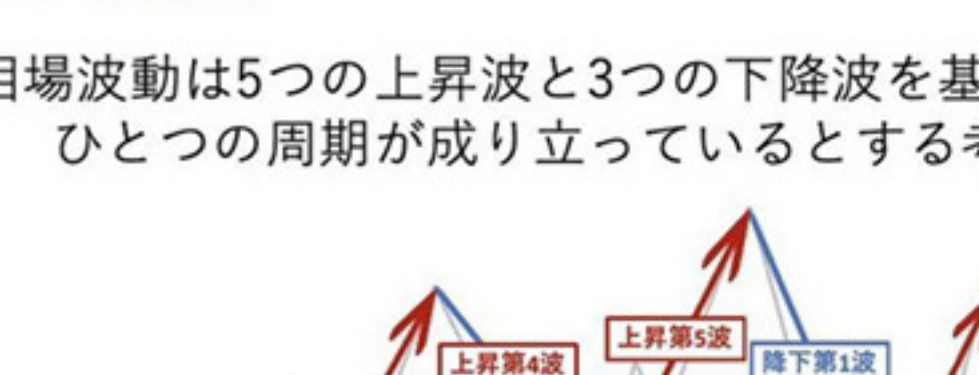
ダウ理論

古い理論だが、現在でもテクニカル分析をする際の基本中の基本とされている



グランビルの法則

移動平均線の傾きや価格との位置関係などから売買サインを判断する



エリオット波動

相場波動は5つの上昇波と3つの下降波を基本としてひとつの周期が成り立っているとする考え方



ウォルフ波動論

一度下がった（もしくは上がった）相場は、必ずその後逆の値動きをするという理論

